

12月10日（土）、午後よりPTAの保健講演会を行いました。

みやま診療所の西岡先生をお招きし、「いのちの課外授業」と題して、救急時の心肺蘇生の重要性やその方法について学びました。休日にもかかわらず、およそ25名の保護者、教職員、生徒の皆さんが集まりました。

始めに、救えなかった命と救えた命をビデオで見ました。「救急車が到着するまで約5分。この5分にそばに居る人が何ができたかで、命が繋がる可能性が高まります。」先生の言葉に、参加者の気持ちが引き締まります。



その後、「もし誰かが目の前で倒れたら」と想定して、救命の流れや胸骨圧迫（心臓マッサージ）の方法、AEDの使い方、複数で救命するときの交代の仕方などを、模型などを使いながら順に学びました。

最後の感想では、「ドラマなどでは簡単そうに見えたけど、自分で押ししてみると難しいし、2分も押し続けるのはしんどかった。」「1年間に7万人も亡くなっていると聞いて驚いた。」「近くで起こるかはわからないけれど、助けられるように行動したい。」など、真剣な声が寄せられました。大変良い講演会になりました。



